

\*各單元における「③態度」の評価については、章全体の評価規準を参考に、適宜設定されたい。

第1編 世界のさまざまな地域

★p.11~120

●第1章 私たちの地球と世界の地域構成 (5時間)

| 章の学習のねらい   | 章の評価規準   |
|--|--|
| <p>○地球儀や地図帳を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し、理解する。</p> <p>○大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して、世界の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> | <p>①知識・技能<br/>地球儀や地図帳の活用の仕方、世界の略地図の描き方などを身に付け、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し、その特色を理解している。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現<br/>世界の地域構成の特色について、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度<br/>世界の地域構成について、地球儀や地図帳を活用して、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などの約束事やきまりなどを主体的に追究しようとしている。</p> |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目                | 学習のねらい   | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現   |
|---------------------|--|---|---|
| ①地球、そして世界へ…<br>     | <p>○世界の大陸と海洋の位置と名称を知り、地球を大観する。</p> <p>○地球儀などを使って、陸地と海洋の分布や面積比を確かめることができる。</p>  | 地球儀などの活用の仕方を身に付け、世界の大陸と海洋の位置など地球の様子を読み取り、理解している。  | 地球儀を活用し、陸地と海洋の分布や面積比がどのようになっているかを考察し、私たちの住む地球が「宇宙船地球号」といわれる意味について表現している。  |
| ②200近くの国々からなる世界<br> | <p>○世界の主な国のうち、60か国程度の位置と名称を身に付ける。</p> <p>○地図帳を使って、世界各国の面積の大きい・小さいや、人口の多い・少ないを調べ、比較できる。</p>   | 世界の主な国の名称を理解し、地図帳などを活用してその位置を見つける技能や、面積の大きい国と人口の多い国について、数値をもとに調べる技能を身に付けている。            | 「人口を面積に置き換えて示した世界地図」を参考に、さまざまな世界地図の表し方を考察したり、地図帳などを活用し、世界の主な国について調べることを通して、面積の大きい国・小さい国や人口の多い国・少ない国の分布の特色について考察し、その内容を表現している。 |
| ③国名や国旗から世界をみると…<br> | <p>○世界の主な国々を国旗・国名の由来や国境線からとらえ、その国の歴史や文化などの特色について関心をもつ。</p> <p>○地図帳のさくいんを使って国の位置を調べたり、さまざまな資料から国旗・国名の成り立ちを調べることができる。</p>                | 地図帳などを活用し、世界の主な国々の国旗の特色や国名の成り立ちについて理解している。  | 世界の主な国々の国旗や国境線に着目し、国名の成り立ちなどと関連付けて特色を考察し、その内容を表現している。   |
| ④地球儀に引かれた線は…<br>    | <p>○地球儀を使って、赤道や本初子午線、緯線や経線の意味を知り、地球上の位置を緯度と経度によって示すことができる。</p> <p>○地球儀を使って、地軸が傾いていることを知り、それによって日本のような中緯度地域では四季の区別があることをとらえることができる。</p> | 地球儀などの活用の仕方を身に付け、「日本と同じ経度・緯度を示した世界地図」を参考に、日本の領域の広がりや位置について、他の国々の経度・緯度と比較しながら考察し、理解している。 | 地球儀を活用し、地軸の傾きとそれに伴う季節の変化がどのように関連しているかを考察し、その特色を表現している。  |

| 学習項目                              | 学習のねらい  | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現   |
|-----------------------------------|---|--|---|
| ⑤地球儀から世界地図へ<br>                   | ○球体である地球を平面の世界地図に表す際に、面積・形・方位などのすべての要素を正しく描くことはできないことが理解できる。<br>○地球儀や世界地図を活用しながら、さまざまな作業を通じて、投影法による世界地図の特徴の差異について関心をもつ。 | 地球儀と世界地図の違いや、平面の世界地図では、面積・形・方位などのすべての要素を正しく同時に描くことはできないことを理解し、用途に応じた世界地図の活用方法を身に付けている。 | 地球儀と世界地図の違いについての知識を生かし、どのような場面で地球儀やさまざまな図法で描かれた世界地図を活用することが適切なのかを考察し、その理由を説明している。 |
| ❖ [地理にアプローチ]<br>世界の略地図を描こう<br>(1) | ○世界のおおまかな略地図を描くことができる。<br>○これまで学習した内容を、世界の略地図を使ってまとめることができる。  | これまで学習した内容をもとに、省略された世界地図を描くポイントを考察し、表現している。  | 大陸の名称をあげながら、大陸の形や位置関係をバランスよくとらえて、世界の略地図を描いている。                                    |

## ●第2章 人々の生活と環境(8時間)

| 章の学習のねらい   | 章の評価規準  |
|--|---|
| ○人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解するとともに、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性及びそれらの関係性について理解する。<br>○世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 | ①知識・技能<br>・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。<br>・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目              | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現   |
|-------------------|--|--|---|
| ①地域によって気候が変わる<br> | ○23ページの「世界の気候帯の分布」と、気温と降水量のグラフを活用し、世界の気候帯の分布をとらえる。<br>○大陸別の気候帯の分布について関心をもち、それぞれの気候帯の特徴を比較し、表現することができる。 | 世界の気候帯について、その名称を理解し、分布の特色を地図帳などを活用して読み取る技能を身に付けている。                          | 世界の気候帯の特色について、気温と降水量のグラフから読み取ったことをもとに考察し、その内容を表現している。 |
| ②赤道に沿った暑い世界<br>   | ○熱帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。<br>○熱帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから熱帯気候の特色をとらえることができる。     | 熱帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を身に付け、熱帯の地域の特徴について、住居や衣服、暮らしの特色と関連付けて理解している。 | 熱帯の地域の特色と生活の工夫について考察し、その内容を表現している。                    |

| 学習項目                    | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現   |
|-------------------------|--|--|---|
| ③植物の少ない<br>乾いた世界<br>    | ○乾燥帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。<br>○乾燥帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから乾燥帯気候の特色をとらえることができる。                      | 乾燥帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を身に付け、乾燥帯の地域の特徴について、住居や衣服、暮らしの特色と関連付けて理解している。     | 乾燥帯の地域の特徴と生活の工夫について考察し、その内容を表現している。                         |
| ④季節の変化が<br>明らかな世界<br>   | ○温帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。<br>○温帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから温帯気候の特色をとらえることができる。                         | 温帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を身に付け、温帯の地域の特徴について、住居や衣服、暮らしの特色と関連付けて理解している。       | 温帯の地域の特徴と生活の工夫について考察し、その内容を表現している。                          |
| ⑤氷と白夜の世界<br>            | ○冷帯(亜寒帯)・寒帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。<br>○冷帯(亜寒帯)・寒帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから冷帯(亜寒帯)・寒帯気候の特色をとらえることができる。 | 冷帯・寒帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を身に付け、冷帯・寒帯の地域の特徴について、住居や衣服、暮らしの特色と関連付けて理解している。 | 冷帯・寒帯の地域の特徴と生活の工夫について考察し、その内容を表現している。                       |
| ⑥標高が高く空<br>気の薄い世界<br>   | ○標高の高い地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。<br>○高山気候の分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから高山気候の特色をとらえることができる。                       | 高山気候の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を身に付け、高山気候の地域の特徴について、住居や衣服、暮らしの特色と関連付けて理解している。   | 高山気候の地域の特徴と生活の工夫について考察し、その内容を表現している。                        |
| ⑦さまざまな言語<br>と人々の暮らし<br> | ○世界にはさまざまな民族が暮らしており、それらを基に多様な言語や文化が形成されていることを理解する。<br>○多様な文化の存在を互いに認めて、共存していこうとする態度を養う。                                    | 世界で使われている言語の分布について、地図帳などを活用し、適切に読み取る技能を身に付け、世界にはさまざまな民族が生活し、多様な言語が使われていることを理解している。 | 複数の言語を公用語としている国について、多文化尊重の視点から考察し、その内容を表現している。              |
| ⑧さまざまな宗教<br>と人々の暮らし<br> | ○世界の主な宗教の特色とその分布を理解する。<br>○多様な宗教の存在を互いに認めて、共存していこうとする態度を養う。  | 世界の主な宗教の分布について、地図帳などを活用し、適切に読み取る技能を身に付け、世界の主な宗教の特色とその分布を理解している。                    | さまざまな信仰をもつ人々や社会の中で意識すべきことや異なる宗教をもつ人々の共存を視点に考察し、その内容を表現している。 |

●第3章 世界の諸地域(29時間)

| 学習項目         | 学習のねらい   | 評価規準  |
|--------------|--|---|
| 世界の諸地域<br>29 | ○州ごとにみられる地球的課題の要因や影響について、その広がりや地域内の結び付きからとらえたり、地球的課題についての州としての地域的特色や変容の過程からとらえたりするなどして、多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。<br>○学習の全体を通して、世界の人々の生活や環境の多様性、それらの結び付きについて理解する。 | ①知識・技能<br>・世界各地で顕在化している地球的課題は、それがみられる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。<br>・世界の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>世界の各州において、地域でみられる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 |

◇I アジアの多様性と経済発展

7

| アジア州の学習のねらい   | アジア州の評価規準   |
|---|---|
| ○アジア州を大観し、その上で「多様なアジアがなぜ経済発展を遂げたか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。<br>○アジア州の経済発展と人口問題を結び付けてとらえるとともに、人口問題における一般的課題と中国における地域特有の課題をとらえる。 | ①知識・技能<br>・アジア州について、経済発展とその歴史的背景、各国の結び付き、州でみられる地球的課題(人口問題)などを通して、地域的特色を大観し、理解している。<br>・アジア州について、地図帳や諸資料を活用して州の地域的特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>アジア州の地域的特色や地球的課題(人口問題)について、その要因や影響をアジア州の広がりや州内の各国の結び付きなどに着目して、諸資料から読み取れることと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>アジア州について設定された主題「経済発展」を通して、そこでみられる人口増加などの地球的課題(人口問題)に着目して考え、主体的に追究しようとしている。 |

<各時間の評価規準>

| 学習項目              | 学習のねらい  | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現  |
|-------------------|---|--|--|
| ①アジアをながめて<br>I    | ○アジア州の歴史と自然環境を大観し、アジアを構成する主な国々の位置と名称を理解する。<br>○アジア州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取り、地域区分をすることができる。 | アジア州の位置・気候・歩みなどについて、地図帳などを活用して特色を読み取る技能を身に付け、アジア州の主な自然地名や国々の位置と名称、地域区分などを理解している。 | アジア州の宗教や気候に着目して、どのような特色があるのかを考察し、その内容を表現している。      |
| ②巨大な人口と多様な民族<br>I | ○中国を例に、多くの人口や多様な民族と、それらを支える農業生産の特色を理解する。<br>○中国を例に、人口・民族分布と人口問題、自然環境と農業の関係について考察し、表現できる。      | 中国の人口分布と農業の特色について、分布図を適切に読み取る技能を身に付け、中国の人口問題や農業の現状などを理解している。                     | 中国の人口問題についての取組や少数民族への政策、農業分布などについて考察し、その内容を表現している。 |

| 学習項目                  | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現  |
|-----------------------|--|--|--|
| ③「世界の工場」の出現<br>       | ○中国を例に、工業化と経済発展が進み、それによって人々の生活が変化していることを理解する。<br>○中国を例に、経済発展とその背景、経済発展と人々の生活の変化、環境問題の深刻化との関係について考え、表現できる。        | 中国の工業化の経緯と暮らしの変化、環境問題について、グラフや分布図から特色を適切に読み取る技能を身に付け、中国の経済発展と環境問題について理解している。     | 中国の経済発展の経緯と生活の変化、環境問題の現状について考察し、その内容を表現している。                 |
| ④工業化と大都市の成長<br>       | ○韓国を例に、工業化にともない、経済発展と都市化が進んでいることを理解する。<br>○韓国を例に、大都市が成長することによって、どのような問題が引き起こされているのかを考え、表現できる。                    | 韓国の工業化や輸出品・人口の変化などについて、グラフや分布図から特色を適切に読み取る技能を身に付け、工業化と大都市の成長から派生する諸課題について理解している。 | 韓国の工業化と都市の成長による課題、日本や北朝鮮との課題について考察し、その内容を表現している。             |
| ⑤変わる産業と貿易<br>         | ○東南アジアを例に、多様な宗教や産業の特徴とその変化を理解する。<br>○東南アジアを例に、工業化が進んだ背景や貿易の進展、人々の生活の変化について考え、表現できる。                              | 東南アジアの産業の特色や変化、地域的な結び付きについて、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、東南アジアの経済発展について理解している。        | 東南アジアの経済発展の背景と工業化にかかわる課題について考察し、その内容を表現している。                 |
| ⑥多様な農業と、世界につながる工業<br> | ○南アジアを例に、農業・工業の発展や、近年のインドの産業の特徴であるICT産業の進展について理解する。<br>○南アジアを例に、農業・工業の発展した背景や、ICT産業が近年進展してきた地域特有の条件について考え、表現できる。 | 南アジアの産業の特色や変化、地域的な結び付きについて、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、南アジアの産業の進展などについて理解している。       | 南アジアの経済発展の背景と今後の課題について考察し、その内容を表現している。                       |
| ⑦世界を動かす石油資源<br>       | ○西アジアを例に、自然環境と人々の暮らしや、石油など鉱産資源に依存した経済の特色を理解する。<br>○西アジアを例に、石油資源が世界に対して及ぼす影響や、人々の伝統的な暮らしが変化していることについて考え、表現できる。    | 西アジアの石油資源と産業の特色について、グラフや分布図から適切に読み取る技能を身に付け、西アジアの経済発展について理解している。                 | 西アジアを例に、石油資源が世界に対して影響を及ぼし、人々の伝統的な暮らしが変化していることについて考察し、表現している。 |
| ☐宗教をめぐる共存と対立<br>(1)   | ○イスラム教を例に、宗教と人々の生活との関わりを理解する。<br>○イスラム教を例に、宗教をめぐる対立があることを知り、平和的に共存するための方法を考え、表現できる。                              | イスラム教を例に、特色や他の宗教との関わりや課題について考察し、宗教の共存と対立について、さまざまな動きや考え方を理解している。                 | 異なる宗教が共存するためには、どのようなことが必要か考察し、表現している。                        |

◇2 アフリカの人々の暮らしと変化

4

| アフリカ州の学習のねらい   | アフリカ州の評価規準   |
|--|--|
| <p>○アフリカ州を大観し、その上で「アフリカの歴史を背景として、どのように人々の暮らしは変化してきたのか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。</p> <p>○アフリカ州の歴史を背景に、産業や経済の課題と人口・食料問題を結び付けてとらえるとともに、人口増加・食料不足といった問題における一般的課題とアフリカ州における地域特有の課題をとらえる。</p> | <p>①知識・技能</p> <p>・アフリカ州について、植民地化の歴史や現状、他地域からの支援活動、州でみられる地球的課題(人口・食料問題)などを通して、地域的特色を大観し、理解している。</p> <p>・アフリカ州について、地図帳や諸資料を活用して州の地域的特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現</p> <p>アフリカ州の植民地化の歴史や人口の急速な増加などの現状をもとに、人口・食料問題などの地球的課題について、地図を含めた諸資料から読み取れることを関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>アフリカ州について設定された主題「歴史を通じてみえてくるアフリカの人々の暮らしの変化」の視点を通して、そこでみられる人口・食料問題などの地球的課題に着目して考え、主体的に追究しようとしている。</p> |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目                  | 学習のねらい   | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現   |
|-----------------------|--|---|---|
| ①アフリカをながめて<br>        | ○アフリカ州の位置と自然環境を大観し、アフリカ州を構成する主な国々の位置と名称を理解する。<br>○アフリカ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。  | アフリカ州の位置・気候・環境問題などについて、地図帳などを活用して特色を読み取る技能を身に付け、その内容やアフリカ州の主な自然地名や国々の位置と名称、地域区分などを理解している。             | アフリカ州の地形・気候や環境問題に着目して、どのような特色があるのかを考察し、その内容を表現している。         |
| ②アフリカの歩みと多様な民族<br>    | ○アフリカ州の国々の歴史と、現代につながる課題について理解する。<br>○現代でも続く紛争や難民などについて関心を高め、アフリカ州の地域情報を集めたり調べたりすることができる。   | 主題図から多くの国々がヨーロッパ諸国の植民地であったこと、独立後の歴史が浅いことや紛争地域を中心に多くの難民が発生していることを読み取り、アフリカ州の国々の歴史と現代につながる課題について理解している。 | アフリカ州の国々の歴史と現代につながる課題について、資料から読み取ることができたことなどをもとに考察し、表現している。 |
| ③伝統的な農村のいま<br>        | ○アフリカ州の農業と農産物の輸出入との関係について、自然環境との関係や歴史的背景の視点から理解している。<br>○アフリカ州の農業からみえてくる人口・食料問題と、農業発展に必要な支援について考え、表現できる。                                 | 気候や植民地化の歴史と関連付けながらアフリカ州の農業や特色について、主題図などから適切に読み取る技能を身に付け、理解している。                                       | アフリカ州の農業や人口をめぐる課題について考察し、その内容を表現している。                       |
| ④変わる人々の暮らし<br>        | ○アフリカ州には豊富な鉱産資源が分布し、多くの国がそれらの輸出に頼るモノカルチャー経済から抜け出す努力を続けていることを理解する。<br>○アフリカ州で豊富な鉱産資源を生かした産業の多様化が進まない状況について、自立へ向けてどのような動きがみられるのか考察し、表現できる。 | アフリカ州の鉱産資源とモノカルチャー経済の特色について、グラフや主題図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。   | アフリカ州の産業の多様化について、経済的な自立に着目して考察し、その内容を表現している。                |
| ☐甘いチョコレートの苦い現実<br>(1) | ○アフリカで生産されるカカオを例に、農産物の生産、輸出とその問題について理解する。<br>○フェアトレードについて関心をもち、身近な食品などから具体的に調べようとする態度を養う。  | 分布図からアフリカ州では児童労働の割合が高く、またその域内でも地域差がみられることを読み取り、アフリカ州で生産されるカカオをもとに、農産物の生産、輸出とその問題について理解している。           | アフリカ州で生産されるカカオを例に、農産物の生産、輸出とその問題について考察し、表現している。             |

◇3 統合を強めるヨーロッパの国々

6

| ヨーロッパ州の学習のねらい  | ヨーロッパ州の評価規準   |
|--|---|
| <p>○ヨーロッパ州を大観し、その上で「ヨーロッパでは、各国がそれぞれの歴史・文化をもちながらも、なぜ統合を強めているのか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。</p> <p>○ヨーロッパ州の各国の産業発展にともなって発生してきたさまざまな環境問題に対する対策をとらえるとともに、環境問題における一般的課題とヨーロッパ州の各国における地域特有の課題をとらえる。</p> | <p>①知識・技能</p> <p>・ヨーロッパ州について、各国の結び付きが強まった理由や歴史的背景、州やEUが抱える地球的課題(環境問題)などを通して、地域的特色を大観し、理解している。</p> <p>・ヨーロッパ州について、地図帳や諸資料を活用して州の地域的特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現</p> <p>ヨーロッパ州の地域的特色や地球的課題(環境問題)について、その要因や影響をヨーロッパ州の広がりや州内の各国の結び付きなどに着目して、諸資料から読み取れることと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>ヨーロッパ州について設定された主題「国家間の結びつき」を通して、そこで見られる酸性雨や地球温暖化などの地球的課題(環境問題)に着目して考え、主体的に追究しようとしている。</p> |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目              | 学習のねらい  | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現  |
|-------------------|---|--|--|
| ①ヨーロッパをながめて<br>   | <p>○ヨーロッパ州の自然環境や文化を大観し、ヨーロッパ州を構成する主な国々の位置と名称を理解する。</p> <p>○ヨーロッパ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。</p>           | <p>ヨーロッパ州の位置・気候・宗教などについて、地図帳などを活用して特色を読み取る技能を身に付け、主な自然地名や国々の位置と名称、地域区分などを理解している。</p> | <p>ヨーロッパ州の気候や宗教に着目して、どのような特色があるのかを考察し、その内容を表現している。</p>         |
| ②ヨーロッパ連合への道のり<br> | <p>○ヨーロッパ連合の成り立ちとその拡大について理解する。</p> <p>○ヨーロッパ連合加盟国における地域格差の現状とその課題について考え、表現できる。</p>                                | <p>ヨーロッパ連合の設立の背景や特色について、年表や主題図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。</p>                           | <p>EU加盟国間の国民総所得や地域格差などに着目して、EUの課題について考察し、その内容を表現している。</p>      |
| ③ヨーロッパ農業のいま<br>   | <p>○ヨーロッパの農業について、自然環境との関係から地域的特色を理解する。</p> <p>○フランスを例に、農業生産の特色や食文化、農業をめぐるヨーロッパ連合の課題について考え、表現できる。</p>              | <p>ヨーロッパの農業の特色について、グラフや主題図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。</p>                               | <p>ヨーロッパの農業について、気候と作物の関係、EUの農業政策などに着目して特色を考察し、その内容を表現している。</p> |
| ④国境を越える工業生産<br>   | <p>○ヨーロッパ連合の工業について、資源分布との関係や工業地域の変化、地域格差について理解する。</p> <p>○ドイツを例に、工業の発展と外国人労働者の増加の関係について考え、表現できる。</p>              | <p>ヨーロッパの工業発展の経緯や現状・課題について、資料や主題図から適切に読み取る技能を身に付け、その特色を理解している。</p>                   | <p>ヨーロッパの工業の課題について、労働者の移動と賃金に着目して考察し、その内容を表現している。</p>          |
| ⑤市民が取り組む環境対策<br>  | <p>○ヨーロッパの国境を越える環境問題と、それに対する人々の努力や関心の高まりについて理解する。</p> <p>○デンマーク、オランダなどを例に、環境問題と人々の環境に対する意識や行動、課題について考え、表現できる。</p> | <p>ヨーロッパの環境問題と解決への努力について、主題図から特色を適切に読み取る技能を身に付け、ヨーロッパの環境問題と環境対策について理解している。</p>       | <p>ヨーロッパの環境問題への取り組みについて、再生可能エネルギーなどに着目して考察し、その内容を表現している。</p>   |

| 学習項目                | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現                                    |
|---------------------|--|--|--|
| ⑥新しい国のかたちをめぐって<br>I | ○ロシア連邦の自然環境と人口分布の特色、歴史的な社会の変化について理解する。<br>○ロシア連邦の鉱産資源を通じたヨーロッパ連合との関係や、経済格差の拡大などについて考え、表現できる。 | ・ロシア連邦の国土・気候、EU諸国との結び付きについて、グラフや主題図から適切に読み取る技能を身に付け、ロシア連邦と他国との関係を理解している。 | ロシアとEU諸国との結び付きについて考察し、その内容を表現している。           |
| ☐原子力発電と環境問題<br>(1)  | ○ヨーロッパを例に、原子力発電の状況について理解する。<br>○原子力発電と環境への影響について関心をもち、その利点と課題について調べようとする態度を養う。               | ヨーロッパを例に、原子力発電の状況と環境への影響について理解している。                                      | 原子力発電と環境への影響について、その利点と課題について考察し、その内容を表現している。 |

◇4 世界に大きな影響力をもつ北アメリカ  
5

| 北アメリカ州の学習のねらい  | 北アメリカ州の評価規準   |
|--|---|
| ○北アメリカ州を大観し、その上で「北アメリカは、なぜさまざまな面で現代の世界に大きな影響力を及ぼしているのだろうか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。<br>○北アメリカ州について、現在の発展に至る経緯について多民族の共存という視点と結び付けてとらえるとともに、多民族の共存がもたらす問題における一般的課題と北アメリカ州における地域特有の課題をとらえる。 | ①知識・技能<br>・北アメリカ州について、産業や生活の特色、北アメリカ州や構成する各国が抱える地球的課題などを通して地域的特色を理解している。<br>・北アメリカ州について、地図帳や諸資料を活用して特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>北アメリカ州の産業や経済などの先進性などを手がかりとして、多民族の共存の問題などの地球的課題について、地図を含めた諸資料から読み取れることを関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>北アメリカ州について設定された主題「先進的で多様な産業の発達」の視点を通して、そこから読み取れる多民族の共存の問題などの地球的課題に着目して考え、主体的に追究しようとしている。 |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目             | 学習のねらい   | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現  |
|------------------|--|---|--|
| ①北アメリカをながめて<br>I | ○北アメリカ州の位置と自然環境を大観し、北アメリカ州を構成する主な国々の位置と名称を理解する。<br>○北アメリカ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。                       | 北アメリカ州の位置・歴史・自然環境、主な自然地名や国々の位置と名称などについて、地図帳などを活用して特色を読み取る技能を身に付け、その内容を理解している。 | 北アメリカ州の位置・歴史・自然環境に着目して、どのような特色があるのかを考察し、その内容を表現している。                 |
| ②世界の食料庫<br>I     | ○アメリカ合衆国が世界有数の農産物輸出国であり、適地適作による大規模な農業経営など、さまざまな面で世界の食料庫として影響力が大きいことを理解する。<br>○アメリカ合衆国の自然環境と農業地域の分布の関係について考え、表現できる。 | アメリカ合衆国とカナダの農業の特色について、グラフや主題図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。                         | アメリカ合衆国の農業が世界各国に影響を与えるなど、世界が大きくアメリカ合衆国に依存していることに着目して考察し、その内容を表現している。 |



| 学習項目              | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現   |
|-------------------|--|--|---|
| ③世界の最先端をゆく工業<br>I | ○豊富な資源を背景としたアメリカ合衆国の工業生産と工業地域の特色を理解する。<br>○重化学工業から、新しい工業分野の発展へと移り変わる中で、先端技術を生かした産業が発達した理由について考え、表現できる。         | アメリカ合衆国・カナダの工業と資源の特色について、グラフや主題図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。   | アメリカ合衆国の工業や多国籍企業について、世界的な役割・影響力に着目して考察し、その内容を表現している。                    |
| ④都市生活とアメリカ文化<br>I | ○現代のアメリカ合衆国の都市生活と、アメリカ文化の広がり、進む都市生活への見直しについて理解する。<br>○アメリカ合衆国の生活様式と比べて、身近な生活の中に、どのようなアメリカ文化の影響がみられるかを考え、表現できる。 | アメリカ合衆国の都市生活や文化の特色などについて、グラフや主題図から適切に読み取る技能を身に付け、理解している。   | アメリカ合衆国の都市生活や文化の特色について、日本の生活や文化との結び付きの視点から考察し、その内容を表現している。              |
| ⑤多民族の共存と貧困<br>I   | ○アメリカ合衆国やカナダを例に、多民族・多文化からなる社会の特色について理解する。<br>○アメリカ合衆国やカナダを例に、多民族の共存に関する問題や工夫について関心をもち、調べようとする態度を養う。            | 北アメリカ州の国々での多民族の共存の課題について、資料や主題図から特色を適切に読み取る技能を身に付け、理解している。 | 北アメリカ州の国々での多民族の共存の課題について、歴史的な背景などに着目して考察し、その内容を表現している。                  |
| 世界に展開する軍事力<br>(1) | ○アメリカ合衆国のもつ強大な軍事力や、その世界各地への展開について理解する。<br>○アメリカ軍基地の展開によって生じる、アメリカ軍が抱える課題、展開する地域に与える影響について関心をもち、調べようとする態度を養う。   | アメリカ合衆国の軍事力の世界的な影響について、グラフや主題図から特色を適切に読み取る技能を身に付け、理解している。  | アメリカ合衆国の軍事力の世界的な影響と課題について、歴史的な背景、軍事産業、米軍基地に関する問題などに着目して考察し、その内容を表現している。 |

#### ◇5 南アメリカの開発と環境

4

| 南アメリカ州の学習のねらい   | 南アメリカ州の評価規準  |
|---|--|
| ○南アメリカ州を大観し、その上で「南アメリカでは、どのような経緯で地域の開発による環境変化が進み、なぜ自然破壊や都市の人口増加が進んだのだろうか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。<br>○南アメリカ州の各国の社会が形成されてきた歴史的背景が、開発による自然破壊や都市の人口増加とどのように結び付くのか、環境問題や都市問題における一般的課題と南アメリカ州における地域特有の課題をとらえる。 | ①知識・技能<br>・南アメリカ州について、植民地としての歴史や多文化社会の形成、南アメリカ州や構成する各国が抱える地球的課題などを通して地域的特色を理解している。<br>・南アメリカ州について、地図帳や諸資料を活用して特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>南アメリカ州の地域開発による環境変化、自然破壊や都市の人口増加などを通して、環境問題や都市問題などの地球的課題について、地図を含めた諸資料から読み取れることを関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>南アメリカ州について設定された「開発による地域の変化」「自然破壊や都市の人口増加」の視点を通して、そこで見られる環境問題・都市問題などの地球的課題に着目して考え、主体的に追究しようとしている。 |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目                      | 学習のねらい   | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現  |
|---------------------------|--|---|--|
| ①南アメリカをながめて<br>I          | ○南アメリカ州の自然環境と歴史、社会の特色を大観し、南アメリカ州を構成する主な国々の位置と名称を理解する。<br>○南アメリカ州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。                           | 南アメリカ州の自然環境と歴史、社会の特色、南アメリカ州を構成する主な国々の位置と名称について、地図帳などを活用して読み取る技能を身に付け、その内容を理解している。         | 南アメリカ州の自然環境の特色について、地形・気候などに着目して多面的・多角的に考察し、その内容を表現している。                                |
| ②南アメリカの農業と開発<br>I         | ○南アメリカ州の農業とその変化、アマゾン川流域の開発とそこに住む人々の生活の課題について理解する。<br>○南アメリカ州の農業とその歴史、アマゾン川流域の環境の変化に関心を持ち、そこで行われている農業や人々の暮らしについて調べようとする態度を養う。 | 南アメリカ州の農業とその歴史やアマゾン川流域の開発について、そこに住む人々の生活や環境の変化について資料から読み取る技能を身に付け、南アメリカ州の開発と課題について理解している。 | 新旧の衛星写真や森林面積の変化などの資料などから、アマゾン川流域の環境の変化を多面的・多角的に考察し、地球環境への影響について調べた内容を表現している。           |
| ③南アメリカの都市が抱える環境問題<br>I    | ○ペルーを例に、南アメリカにおいて都市化が進む理由と都市化による問題について理解する。<br>○南アメリカの各国が抱える経済格差や貧困の問題について考え、表現できる。  | ペルーを例に、南アメリカ州において都市化が進む理由や都市が抱えるさまざまな課題について理解している。  | 南アメリカが多文化社会となった歴史的背景、多文化社会とは何かについて考察し、その内容を表現している。                                     |
| ④南アメリカの経済開発と社会<br>I       | ○南アメリカ州各国における豊富な鉱産資源などによる工業化と経済発展について理解する。<br>○南アメリカ州の多文化社会とその歴史的背景について考え、表現できる。   | 資料から南アメリカ州の各国の経済の状況を読み取る技能を身に付け、豊富な鉱産資源と各国の工業化と経済発展、多文化社会について理解している。                      | 南アメリカ州の鉱産資源と工業化、多文化社会の形成について考察し、表現している。  |
| ☐移動する人々ー日系移民の苦難の歴史<br>(1) | ○日本から南アメリカ州へ移動した、日系移民の人々の歴史について理解する。<br>○日系移民の人々について関心を持ち、移住先での暮らしなどについて調べ、人々が国境を越えて移動する理由について考えようとする態度を養う。                  | 地図帳や資料から「どこに多く日系人が暮らしているか」を読み取り、南アメリカ州の地域的特色と関連させ、南アメリカ州の日系移民の人々の暮らしについて理解している。           | 南アメリカ州に移住した日系移民の人々の暮らしについて、南アメリカ州の地域開発や経済成長などと関連させて多面的・多角的に考察し、人々が国境を越えて移動する理由を表現している。 |

◇6 他地域と結びつくオセアニア

3

| オセアニア州の学習のねらい  | オセアニア州の評価規準   |
|--|---|
| <p>○オセアニア州を大観し、その上で「オセアニア州では、なぜ他地域との関係が強まったのだろうか」を主題として設定して、地域的特色を理解する。</p> <p>○オセアニア州が多様な地域からの移民によって形成されてきた歴史的背景をふまえ、多民族の共存の問題にどのように向き合ってきたか、多民族社会における一般的課題とオセアニア州における地域特有の課題をとらえる。</p> | <p>①知識・技能</p> <p>・オセアニア州について、移民による社会形成の歴史やそれに伴う他地域との結び付き、オセアニア州の各国が抱える地球的課題などを通して地域的特色を理解している。</p> <p>・オセアニア州について、地図帳や諸資料を活用して特色を具体的にとらえ、習得した知識を整理して地図などを使ってまとめる技能を身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現</p> <p>オセアニア州への移民による社会形成の歴史などを手がかりとして、多民族の共存の問題などの地球的課題について、地図を含めた諸資料から読み取れることを関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>オセアニア州について設定された主題「他地域との結びつき」の視点を通して、そこで見られる多民族共存の問題などの地球的課題に着目して考え、主体的に追究しようとしている。</p> |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目                       | 学習のねらい   | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現   |
|----------------------------|--|---|---|
| ①オセアニアをながめて<br>I           | <p>○オセアニア州の歴史や自然環境を大観し、オセアニア州を構成する主な国々の位置と名称を理解する。</p> <p>○オセアニア州の地勢図から、主な自然地名や国々の位置と名称を読み取ることができる。</p>  | <p>オセアニア州の位置や自然環境、オセアニア州を構成する国々や特色ある歴史について、地図やグラフなどの資料を読み取る技能を身に付け、理解している。</p>                            | <p>オセアニア州の主な国や自然環境について、地図やグラフなどの資料を活用して多面的・多角的に考察し、その地域的特色を表現している。</p>      |
| ②多文化主義の社会をめぐって<br>I        | <p>○オーストラリアやニュージーランドを例に、自然を生かした産業や歴史的背景と結び付けて、先住民と移民からなる現在の社会を理解する。</p> <p>○オーストラリアやニュージーランドの歴史的背景と結び付けて、特色ある産業や先住民と移民からなる社会の変化について考え、表現できる。</p> | <p>オーストラリアやニュージーランドについて、地図やグラフなどの資料から産業の特色を読み取る技能を身に付け、歴史的背景と結び付けて、現在の両国の社会の特色を理解している。</p>                | <p>オーストラリアやニュージーランドの社会の変化を、歴史的背景と結び付けて考察し、先住民や移民からなる社会や産業の特色について表現している。</p> |
| ③アジアとつながるオセアニア<br>I        | <p>○オーストラリアを例に、アジア諸国との結び付きを強めている背景について理解する。</p> <p>○オセアニア州の観光による他地域との結び付きとその課題について関心をもち、日本を含めたアジア諸国との結び付きについて調べようとする態度を養う。</p>                   | <p>オーストラリアにみる貿易相手先の変化などについて、地図やグラフなどの資料から読み取る技能を身に付け、オーストラリアがアジア諸国との結び付きを強めている背景を理解している。</p>              | <p>オセアニア州が他地域との結び付きを強めている背景やそれに伴う課題を、多面的・多角的に考察し、日本との関わりの変化について表現している。</p>  |
| □変わる「楽園」の暮らしー太平洋の島々<br>(1) | <p>○サモアやパプアニューギニアを例に、島々からなる国の暮らしと、外国との結び付きを強めていることを理解する。</p> <p>○外国との結び付きが深まることによって、伝統的な暮らしがどのように変化したのかを考え、表現できる。</p>                            | <p>キリスト教の信仰などヨーロッパ文化の影響を受けていることを資料から読み取り、サモアやパプアニューギニアを例に、島々からなる国の暮らしと、外国からの援助などの結び付きを強めていることを理解している。</p> | <p>他地域との結び付きによって生じた伝統的な暮らしの変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>                   |

●第4章 世界のさまざまな地域の調査(4時間)

| 世界のさまざまな地域の調査の学習のねらい  | 世界のさまざまな地域の調査の評価規準  |
|---|---|
| <p>○世界のさまざまな地域について、その特色をとらえる適切な主題を設けて追究し、世界の地理的認識を深める。</p> <p>○世界のさまざまな地域調査における視点と方法を身に付ける。</p> | <p>①知識・技能</p> <p>・世界のさまざまな地域の調査とその地域的特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>・世界のさまざまな地域の調査について、地域的特色とともに地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現</p> <p>世界のさまざまな地域の地域的特色をとらえる適切な主題を設定し、地域の調査を行う際の視点や方法をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>世界のさまざまな地域について資料を収集し、情報を整理するなどして、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p> |
| <p>* 第4章の学習内容は、第3章の指導に当たり、併せて指導して下さい。</p>   |   |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目                    | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現  |
|-------------------------|--|--|--|
| ①調べる地域とテーマを決めよう<br>I    | <p>○地域調査の活動にあたって、調査対象の地域や国と、調査の主題(テーマ)を決める。</p> <p>○調査対象の地域を概観するために、地勢図から国名や自然地名、自然環境などを読み取る。</p>                | <p>調査の主題(テーマ)に基づいた世界の地域や国の調査をするための視点や方法を身に付け、調査対象の地域や国の地勢図から国名や自然地名、自然環境などを読み取り、面積や人口などの基本的情報を図表などにまとめている。</p> | <p>これまで学習したり、教科書や地図帳、各種の地図や文献、新聞やテレビなどから興味・関心を抱いたりした地理的事象を基に、その地域の地域的特色をとらえる適切な主題を決め、調査対象の地域や国の地勢図から、地形や気候など自然環境の様子を文章で説明している。</p> |
| ②地域の多様なすがたを調べよう<br>I    | <p>○調べる主題に応じて、地域の歴史、社会、文化などの基本的な地域情報を、多面的に調べる方法を身に付ける。</p> <p>○さまざまな資料から、調査対象の地域や国の特色を読み取る。</p>                  | <p>景観写真や図、グラフなどの資料から、調査対象の地域や国の特色を読み取るなど、調べる主題に応じて、地域の歴史、社会、文化などの基本的な地域情報を、多面的に調べる方法を身に付けている。</p>              | <p>調べる主題に応じて、地域の歴史、社会、文化などの基本的な地域情報に対する関心を高め、地域の歴史、社会、文化などの基本的な地域情報を多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>                                 |
| ③人口と都市の暮らしについて調べよう<br>I | <p>○調べる主題に応じて、人口や都市、人々の暮らしの変化を調べる方法を身に付ける。</p> <p>○景観写真の読み取りや主題図どうしの比較・関連などから、人口や都市に関する地域情報を調べる方法を身に付ける。</p>     | <p>景観写真の読み取りや主題図どうしの比較・関連などから、人口や都市などの地域情報を読み取り、調べる主題に応じて人口や都市、人々の暮らしの変化を、多面的に調べる方法を身に付けている。</p>               | <p>調べる主題に応じて、人口や都市、人々の暮らしの変化に対する関心を高め、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>   |
| ④地域や国の課題を調べよう<br>I      | <p>○調べる主題に応じて、地域の国々にみられる課題を調べ、まとめる方法を身に付ける。</p> <p>○調査内容をレポートなどの形式にまとめる。また、調査活動を振り返り、調査の進め方や、その視点と方法などを確認する。</p> | <p>調べる主題に応じて、調査対象の地域や国にみられる環境問題や社会問題について調べ、その内容をレポートやパソコンによるプレゼンテーションなどの形式にまとめる方法を身に付けている。</p>                 | <p>調べる主題に応じて、調査対象の地域や国にみられる課題を意欲的に調べて考察し、調査内容を意欲的にまとめ、調査活動を振り返り、調査の進め方や、その視点と方法などを説明している。</p>                                      |

●第1章 日本の地域構成(5時間)

| 章の学習のねらい  | 章の評価規準  |
|---|---|
| <p>○地球儀や地図帳を活用し、日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の広がりや特色、その変化、地域区分などを大観し、日本の地域構成を理解する。</p> <p>○日本の周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して、日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。</p> | <p>①知識・技能<br/>地球儀や地図帳を活用し、日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化、地域区分などを基に、日本の地域構成を大観し、理解している。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現<br/>日本の地域構成の特色について、周辺の海洋の広がりや国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度<br/>日本の地域構成について、地球儀や地図帳などを活用し、その特色や課題について主体的に追究しようとしている。</p> |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目              | 学習のねらい  | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現  |
|-------------------|---|---|--|
| ①世界のなかの日本の位置<br>I | <p>○世界における日本の位置を理解し、絶対的位置や相対的位置の方法によって表現できる。</p> <p>○時差のしくみを理解し、世界各地との時差の計算によって、日本の位置について表現できる。</p>                                 | <p>・地球儀や地図帳などを活用し、世界における日本の位置を理解し、適切に表す技能を身に付けている。</p> <p>・時差のしくみについて理解し、他の国の都市との時差を求める技能を身に付けている。</p>      | <p>時差についての知識を活用し、一つの国の中で時差が生じる国の共通点を考察し、その内容を表現している。</p>                     |
| ②日本の国土の広がり<br>I   | <p>○日本の領域は多くの島々(領土)と領海・領空からなり、海に囲まれた海洋国家であることを理解する。</p> <p>○領海の外側に排他的経済水域が設けられていること、日本の領域が時代とともに変化してきたことについて関心を持ち、調べようとする態度を養う。</p> | <p>日本の領域について、地図帳などを活用して位置や名称をとらえる技能を身に付け、日本の領域の特色を理解している。</p>   | <p>日本の排他的経済水域と領域との特色の一つとして、沖ノ鳥島の護岸工事の意義について考察し、その内容を表現している。</p>              |
| ③日本の領土をめぐって<br>I  | <p>○北方領土、竹島と尖閣諸島について、日本と周辺国との間に領土をめぐる対立が生じていることを理解する。</p> <p>○北方領土、竹島と尖閣諸島について、具体的な位置関係を把握するとともに、歴史的背景について関心を持ち、調べようとする態度を養う。</p>   | <p>北方領土、竹島と尖閣諸島について、地図帳などからその位置をとらえる技能を身に付け、日本と周辺国との間に領土をめぐる対立が生じていることを理解している。</p>                          | <p>北方領土、竹島と尖閣諸島について、位置関係や歴史的背景を調べ、解決に向けてどのようなことが必要かを考察し、その内容を表現している。</p>     |
| ④47の都道府県<br>I     | <p>○47都道府県と都道府県庁所在地名について確認し、その成り立ちを含めて理解し、自然的・社会的条件を設定して共通性を考えるなどして、表現できる。</p> <p>○日本のおおまかな略地図を描くことができる。</p>                        | <p>地図帳などを活用し、47都道府県と都道府県庁所在地の位置と名称をとらえる技能を身に付け、その成り立ちや境界、都道府県庁所在地の歴史的特色や共通性について理解している。</p>                  | <p>都道府県庁所在地の歴史的特色や共通性について考察し、その内容について表現している。</p>                             |
| ⑤さまざまな地域区分<br>I   | <p>○日本の行政区分の変化や、目的に応じてさまざまな地域区分ができることを理解する。</p> <p>○さまざまな地域区分図から、それぞれの区分の特色について読み取ることができる。</p>                                      | <p>「古代の五畿七道による区分」、「昔の国の区分」から、現在の都道府県の区分との違いについて読み取ることができ、一方で山梨県の例にあるように、その目的に応じて多様な地域区分が設定できることを理解している。</p> | <p>日本の行政区分について歴史的な変化を地図を基に表現するなど、地域区分はその目的に応じて多様に設定できる便宜的なものであることを判断できる。</p> |

| 学習項目                             | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現  |
|----------------------------------|--|--|--|
| ◆[地理にアプローチ]<br>日本の略地図を描こう<br>(1) | ○日本のおおまかな略地図を描くことができる。<br>○これまで学習した内容を、日本の略地図を使ってまとめることができる。 | 北緯 35 度の緯線や東経 135 度の経線に留意し、北海道・本州・四国・九州・沖縄の島々の形状や位置関係をバランスよくとらえ、日本を構成する主な島々の名称をあげながら、その形状や位置関係を表現している。 | 省略された日本地図を描くポイントを考察・説明でき、これまで学習した内容を略地図を用いて表現している。 |

## ●第2章 世界からみた日本のすがた(11時間)

| 章の学習のねらい  | 章の評価規準  |
|---|---|
| ○世界的視野や日本全体の視野からみた日本の地域的特色を理解し、日本の国土の特色をさまざまな面から大観する。 | ①知識・技能<br>・世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野からみた自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きを理解し、その知識を身に付けている。<br>・世界と比べた日本の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>世界と比べた日本の地域的特色を、世界的視野や日本全体の視野からみた自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>世界と比べた日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目                 | 学習のねらい   | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現  |
|----------------------|--|---|--|
| ①変動する大地と安定した大地<br>   | ○世界の中で日本が不安定な地盤に位置することや、環太平洋造山帯に位置することを理解する。<br>○世界の火山や地震源の分布図から、日本が火山・地震活動が活発な場所にあることや、その理由について考え、読み取ることができる。 | 世界の主な山脈や海溝の分布の特色を読み取り、二つの造山帯とその特色、世界の山脈・地震・火山の分布などを、プレートテクトニクスのメカニズムと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。   | 日本が地震や火山活動が活発な場所にあることや、プレートテクトニクスの基礎的な知識と関連するメカニズムについて、多面的・多角的に考察し、表現している。                                 |
| ②変化に富む日本列島の地形<br>    | ○日本の山地や火山、平野や河川の分布とそれらの名称を理解する。<br>○山地や平野の成因や扇状地と三角州の違い、日本の河川の特徴、海岸線にみられるさまざまな環境について理解する。                      | 資料から主な地形の分布を読み取り、日本の主な山地・山脈や平野・河川の分布、扇状地・三角州の成因、海岸の種類など、地形からみた地域的特色について理解している。                | 日本の主な山地や平野の分布に興味をもち、それらの分布や成因をとらえ、日本の主な地形の分布や形成のしくみ、人間活動との関わりについて考察し、それらを表現している。                           |
| ③地形図を使って地形をみていこう<br> | ○地形図に表現される方位、地図記号、等高線のしくみについて覚え、それぞれの読み取りの技能を身に付ける。<br>○地形図上で読み取ることのできる地理的な情報を言語化し、文章に表現できる。                   | 地形図上の方位、地図記号、等高線のしくみについて理解し、それをもとにさまざまな自然環境を読み解いていく技術を知識として身に付けている。                           | さまざまな地図記号に関心をもち、地形図のきまりや読み取り方について調べたり、地形図上の方位、地図記号、等高線など地理的な情報をもとに、身近な地域の様子について文章で表現している。                  |
| ④四季のある気候<br>         | ○世界には五つの気候帯が広がり、日本は温帯に属していること、日本は六つの気候に区分できることについて理解する。<br>○日本の気候区分図から、各地域の気候の特色について考え、表現できる。                  | 世界の気候帯や日本の気候区分について、各地の気温と降水量のグラフや気候区分図を読み取ったり、地図を活用したりして示すことができ、各地の気候の成因について理解し、その知識を身に付けている。 | 日本の気候について関心をもち、世界の気候帯の中における位置づけや、気候は緯度や海流などが影響を与え、植生・景観に違いが現れること、日本の気候は季節風によって変化が生じ、梅雨や台風などが発生することを表現している。 |

| 学習項目                  | 学習のねらい   | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現   |
|-----------------------|--|---|---|
| ⑤自然がもたらす災害と向き合う<br>I  | ○日本で発生するさまざまな自然災害と、そのしくみなどの特徴を理解する。<br>○さまざまな自然災害に対して、対策が行われていることについて考え、文章に表現できる。  | 地震や津波、火砕流や土石流などのさまざまな自然災害の種類や発生のしくみについて、地図・写真などの資料から理解している。   | 東日本大震災や阪神・淡路大震災などを事例に、さまざまな自然災害に対して行われている対策について多面的・多角的に考察し、身近な災害対策について文章に表現している。  |
| ⑥災害から身を守るために<br>I     | ○災害予測の重要性について認識し、さまざまな災害への支援・復興のための、国や各地方公共団体、地域社会のしくみを理解する。<br>○ハザードマップを例として、さまざまな災害への予測、支援、復興への対策について考え、表現できる。         | 東日本大震災などの事例をもとに、災害時の対応や支援、復興や予測の重要性について理解している。  | 自然災害から身を守るための対策や、災害後の支援、復興へ向けた対策について、ハザードマップなどをもとに多面的・多角的に考察し、表現している。   |
| ⑦世界の人口分布と変化<br>I      | ○世界人口の分布や世界人口の現状をふまえて、日本では少子高齢化が進んでいることなどについて理解する。<br>○人口ピラミッドから、世界各国や地域の人口構成の特色を読み取り、説明したりすることや、日本の人口の特色についてまとめることができる。 | 世界の人口分布図や、人口ピラミッドの読み取る技能を身に付け、世界の人口分布の偏りや日本の人口構成の特色を理解している。   | 世界人口の分布図や人口ピラミッドなどから、人口分布や人口構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。   |
| ⑧日本の人口分布と課題<br>I      | ○日本の人口分布について、三大都市圏などの過密地域と、過疎地域がみられることを理解する。<br>○日本の少子化・高齢化によって、今後予想される課題について考え、表現できる。                                   | 日本の人口分布には過密・過疎の問題がみられること、人口構成では少子化・高齢化が進み、さまざまな課題が予想されていることを理解し、その知識を身に付けている。   | 日本の過密・過疎の問題と少子化・高齢化について、なぜそうした傾向が生じるのか、今後どのような課題が予想されるのか、さまざまな観点から考察し、表現している。   |
| ⑨資源・エネルギーのかたよる分布<br>I | ○世界の資源の分布や、日本は外国からの資源輸入に依存していることを理解する。<br>○発電方法の種類と再生可能なエネルギーについて考え、表現できる。   | 資料から世界各国による構成割合の違いを読み取ったり、日本の発電所の立地について自然的条件や社会的条件とともに図表にまとめたりすることを通じて、世界の資源分布には偏りがあり、日本は多くの資源について輸入に頼っていることや、日本の発電所の立地についてその特色や課題を理解している。          | 世界の資源分布とその消費には地域的な偏りがみられ、日本は外国からの輸入に頼っていることを通じて、世界全体の資源・エネルギーの消費量が増え続けている中で、環境保全と経済発展をどのように両立させていくのかなど、持続可能な利用について考察し、表現している。 |
| ⑩産業の構成とその変化<br>I      | ○日本の産業別人口割合が大きく変化してきたことについて理解する。<br>○日本の各産業の特色について、その理由などについて考え、表現できる。   | 資料から日本が先進国であり、第三次産業が中心であることを読み取ることに、日本の産業は第二次世界大戦後に急激に変化し、経済の情報化やサービス化が進んでいることについて理解し、日本の産業構成の特色を理解している。  | 経済からみた世界の中の日本の位置について関心を持ち、産業別人口の割合の推移から産業ごとの人口が歴史的に変化してきたことを考察し、各産業の現状とその要因について適切に表現している。                                     |
| ⑪結びつきを強める世界と日本<br>I   | ○世界の国々は交通や通信、貿易によって強く結び付いてきており、人の移動も増えてきたことを理解する。<br>○主題図から、国内の時間距離が短縮されてきたことや、交通網が発達してきたことを読み取ることができる。                  | 資料から、日本は北アメリカやアジアをはじめとした世界各地と結び付いていること、変化の大きい地域と小さい地域があることを読み取り、交通・通信の技術の発達によって、世界各地と日本が結び付きを強めてきていることや、その結び付きには先進国と発展途上国などによる地域的な違いがみられることを理解している。 | ICTの発達により社会生活が変化しつつあること、情報化が進んだことに関心を持ち、世界全体として交通網やICTの発達による結び付きや、貿易や通信などの発達にはさまざまな格差がみられることを表現している。                          |

●第3章 日本の諸地域(35時間)

| 学習項目         | 学習のねらい  | 評価規準   |
|--------------|---|--|
| 日本の諸地域<br>35 | ○各地域に充てた学習の視点とそれを取り巻く他の諸事象との多様な関係性をとらえたり、学習の視点の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などによってとらえたりして、地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。<br>○学習の全体を通して、日本の諸地域の地域的特色や地域の課題とともに事象間の関係性を理解できるようにする。 | ①知識・技能<br>・いくつかに分けた日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。<br>・定められた考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>日本の諸地域において、それぞれの考察の仕方の中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 |

◇I 九州地方  
5

『環境問題と環境保全を中心に考えよう』

| 九州地方の学習のねらい  | 九州地方の評価規準  |
|--|--|
| ○九州地方を大観し、「環境問題と環境保全」の視点を中核として、それを産業や地域開発の動向、人々の生活などと関連付け、九州地方の地域的特色や地域の課題を理解する。<br>○「環境問題と環境保全」の視点を通して、九州地方では、人々の生活や経済活動が自然環境にどのような影響を及ぼしているのかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。 | ①知識・技能<br>・九州地方を「環境問題と環境保全」の視点から大観し、地域的特色や地域の課題を理解している。<br>・九州地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>九州地方について、人々の生活や経済活動が自然環境に与える影響や、生じている課題を多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>九州地方について「環境問題と環境保全」の視点を通して、そこでみられる地域的特色や地域の課題に着目し、主体的に追究しようとしている。 |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目                 | 学習のねらい  | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現   |
|----------------------|---|---|---|
| ①多様な自然環境に恵まれた地域<br>I | ○九州地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称を理解する。<br>○九州地方の地勢図から、主な自然地名や各県、主な都市の位置と名称を読み取ることができる。       | 九州地方の位置と自然環境の特色について、地図・グラフなどから読み取る技能を身に付け、構成する県の位置や名称を理解している。 | 九州地方は、中国や韓国と近いために歴史的な結び付きが深いことなどについて、多面的・多角的に考察し、歴史的な影響などを適切に表現している。    |
| ②さんご礁の海を守る<br>I      | ○南西諸島の自然環境と歴史の特色、観光開発による環境への影響について理解する。<br>○沖縄県の歴史や文化と自然環境の特色から、観光開発と環境保全の関係について考え、表現できる。 | 沖縄の自然環境と歴史の特色について、南西諸島のさんご礁などにも着目して、観光開発による環境への影響について理解している。  | 沖縄県を例に、観光開発と環境保全の関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。                             |
| ③火山とともに暮らす<br>I      | ○九州地方に火山が集中していることや、火山が人々の暮らしに及ぼす影響について理解する。<br>○桜島の火山活動を例に、地域の人々の対応や火山の利用について考え、表現できる。    | 九州地方の火山の分布や桜島の火山活動を例に、火山が人々の暮らしに及ぼす影響や対応・工夫について理解している。        | 桜島の火山活動がもたらす影響について、産業や防災に関わる資料をもとに多面的・多角的に考察し、人々の生活と火山活動の関わりについて表現している。 |



| 学習項目               | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現   |
|--------------------|--|--|---|
| ④環境を守る循環型の農業<br>1  | ○九州地方では自然環境を生かした畜産業が盛んであり、家畜のふん尿をエネルギーとして利用する循環型農業の取り組みが行われていることを理解する。<br>○温暖な気候を生かした農業や九州南部の畜産業を例に、特色ある自然環境を生かした農業について考え、表現できる。 | 九州地方の自然環境を生かした畜産業について、グラフや写真などの資料から読み取り、地域ブランドなどの取り組みが行われていることを理解している。               | 九州地方が全国有数の畜産地域であることを多面的・多角的に考察し、地域ブランドの魅力について適切に表現している。                       |
| ⑤煤煙の街からエコタウンへ<br>1 | ○九州地方の工業発展の歴史と公害の発生、その克服と変わる九州地方の工業都市について理解する。<br>○北九州市を例に、公害とその克服の取り組みに着目して考え、変わる九州地方の工業の特色について表現できる。                           | 北九州市を例として、九州地方の工業発展の歴史と現在の主な工業都市にかかわる資料を読み取り、その特色を理解している。                            | 九州地方の工業発展の歴史について、公害の克服などと共に多角的・多面的に考察し、表現している。                                |
| ☐公害を乗り越えて<br>(1)   | ○水俣市で発生した公害病と、その教訓を生かした環境モデル都市としての活動について理解する。<br>○四大公害について関心を持ち、その後の対策や状況などについて調べる態度を養う。   | 水俣市で発生した公害病と、その教訓を生かした環境モデル都市としての活動を事例とし、日本各地の公害について関心を持ち、各都市の現状やその取り組みなどについて理解している。 | 水俣病の原因やその経過、被害の実態を調べながら、水俣市がその後どのように公害防止に取り組み、具体的な政策を行ったかを多面的・多角的に考察し、表現している。 |

◇2 中国・四国地方  
5

『人口や都市・村落を中心に考えよう』

| 中国・四国地方の学習のねらい   | 中国・四国地方の評価規準   |
|--|--|
| ○中国・四国地方を大観し、「人口や都市・村落」の視点を中核として、人口集中については都市問題などと、人口減少については著しく地域の人口が減少する過疎化や地域おこしと、交通網の整備と人口の移動などをそれぞれ関連付け、中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を理解する。<br>○「人口や都市・村落」の視点を通して、中国・四国地方では、人口の変化が人々の生活や地域の経済活動などにどのような影響を及ぼしているのかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。 | ①知識・技能<br>・中国・四国地方を大観し、「人口や都市・村落」の視点を中核として、人口集中については都市問題などと、人口減少については著しく地域の人口が減少する過疎化や地域おこしと、交通網の整備と人口の移動などをそれぞれ関連付け、中国・四国地方の地域的特色や地域の課題を理解している。<br>・中国・四国地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>「人口や都市・村落」の視点を通して、中国・四国地方では、人口の変化が人々の生活や地域の経済活動などにどのような影響を及ぼしているのかについて、そこで生じている課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>中国・四国地方の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目                | 学習のねらい   | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現   |
|---------------------|--|---|---|
| ①人口分布のかたよる地域<br>I   | ○中国・四国地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称を理解する。<br>○中国・四国地方の地勢図から、主な自然地名や各県、主な都市の位置と名称を読み取ることができる。                          | 中国・四国地方の位置と自然環境を大観し、地図・グラフなどの資料から中国・四国地方の位置や構成する県、主な自然地名、主な都市の位置と名称、人口分布の特色を読み取り、三つの地域に区分できることを理解している。            | 中国・四国地方の人口分布の特色を考察し、その特色が歴史的な要因と密接に関連していることを説明している。   |
| ②中国・四国地方の中心 広島<br>I | ○中国・四国地方の地方中枢都市・政令指定都市である、広島市の都市化によって生じている課題について理解する。<br>○地形図の新旧比較やグラフから、広島市の都市の発達について歴史的な変化を読み取ることができる。           | 中国・四国地方の地方中枢都市である広島市を例に、新旧地形図の比較を通して都市の発達について歴史的な変化を読み取る技能を身に付け、広島市の都市化によって起こる課題について理解している。                       | 広島市の都市の性格が変化してきた理由を、歴史的背景や地形的条件、交通の発達と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。                              |
| ③人口減少と地域の悩み<br>I    | ○中国山地の農村などでは人口減少が続いており、過疎化にともなう課題がみられることを理解する。<br>○中国・四国地方の山間部などを例に、過疎化の進む地域の人口構成の特色と課題、その対策としての市町村合併について考え、表現できる。 | 主題図や写真などの資料から、中国・四国地方の人口増減の地域的特色について、地形と関わらせて読み取る技能を身に付け、中国山地の農村などで人口減少が続いており、耕作放棄地の拡大など過疎化にともなう課題がみられることを理解している。 | 中国・四国地方の山間部を例に、過疎化・高齢化の原因や課題、市町村合併の目的や問題点について多面的・多角的に考察し、表現している。                            |
| ④地域おこしの知恵<br>I      | ○過疎地域における、地域おこしや人々の努力・工夫の事例について理解する。<br>○高知県馬路村や徳島県上勝町を例に、地域おこし、地域の活性化について関心をもち、各地の人々の努力・工夫について調べようとする態度を養う。       | 馬路村や上勝町を例に、人口構成を表すグラフを通して過疎地域に共通する特色を読み取る技能を身に付け、過疎地域における地域おこしや人々の努力・工夫、地域特有の課題について理解している。                        | 「地域の活性化にどのように取り組むか」という課題について、地産地消や六次産業化という考え方をもち、馬路村や上勝町の例を通して多面的・多角的に考察し、表現している。           |
| ⑤交通網の発達と人口の変化<br>I  | ○中国・四国地方の交通網の整備が、地域の人々の生活に与えた影響について理解する。<br>○中国・四国地方の交通網の変化を示した主題図から、人々の行動圏が拡大したことや航路の廃止、移動手段の多様化などを読み取り、表現できる。    | 主題図などの資料から、人々の行動圏が拡大したことや航路の廃止、地方空港の新設などの変化を読み取る技能を身に付け、中国・四国地方の交通網の発達が人々の生活に与えた影響を多面的に理解している。                    | 本州四国連絡橋の完成を例に、交通網の発達と人口の変化の関係について考察し、表現している。  |
| ㊦荒廃の進む日本の山村<br>(1)  | ○山村の過疎化にともなって、農地や地域社会の維持が困難になりつつある現状を理解する。<br>○過疎地域で進む耕作放棄地の拡大に関心をもち、その対策などについて調べようとする態度を養う。                       | 主題図やグラフから、中国・四国地方および日本の山村の特色を読み取り、山村の過疎化の進行にともなって、農地や地域社会の維持が困難になりつつある現状を理解している。                                  | 全国的に山村の過疎化が進行し、生活環境の維持が危機的な状況となっていることに関心をもち、その対策などについて考えとともに、過疎地の活性化について多面的・多角的に考察し、表現している。 |

| 近畿地方の学習のねらい   | 近畿地方の評価規準   |
|---|---|
| <p>○近畿地方を大観し、「歴史的背景」を中核として、日本の政治・経済・文化の中心地であったことが地域に及ぼした影響などと関連付け、近畿地方の地域的特色や地域の課題を理解する。</p> <p>○「歴史的背景」を通して、近畿地方では、人々の生活や地域の特徴が時代とともにどのように移り変わってきたかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。</p> | <p>①知識・技能</p> <p>・近畿地方を大観し、「歴史的背景」を中核として、日本の政治・経済・文化の中心地であったことが地域に及ぼした影響などと関連付け、近畿地方の地域的特色や地域の課題を理解している。</p> <p>・近畿地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現</p> <p>「歴史的背景」を通して、近畿地方では、人々の生活や地域の特徴が時代とともにどのように移り変わってきたか、そこで生じている課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>近畿地方の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目              | 学習のねらい   | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現  |
|-------------------|--|---|--|
| ①歴史に育まれた地域<br>    | <p>○近畿地方の位置・歴史と自然環境を大観し、構成する府県の位置と名称を理解する。</p> <p>○近畿地方の地勢図から、主な自然地名や各府県、主な都市の位置と名称を読み取ることができる。</p>  | <p>近畿地方の位置・歴史と自然環境を大観し、地図・グラフなどの資料から近畿地方の位置や構成する府県、主な自然地名、主な都市の位置と名称、人口分布の特色を読み取り、構成する府県の位置と名称を理解するとともに、大まかな歴史的背景を理解している。</p> | <p>近畿地方が古代から中世にかけて日本の中心として発展してきた理由や、近世には経済の中心であったことなど、歴史的な事象を背景として考察し、表現している。</p>                          |
| ②京都の街並みと景観保全<br>  | <p>○伝統的な街並みの保存と都市の開発という二つの問題における対立と調和について理解する。</p> <p>○景観の保全と開発において、さまざまな立場の意見や課題について考え、表現できる。</p>   | <p>京都市を例として、地図・写真などの資料から京都の街割りの特色を読み取るなどの技能を身に付け、開発や都市化、伝統的な街並みと景観保全などについて理解している。</p>   | <p>景観保全と地域開発において、さまざまな立場や意見があることについて考察し、説明している。</p>  |
| ③阪神工業地帯の発展と課題<br> | <p>○阪神工業地帯における工業の特色や臨海部の再開発などについて、その歴史的な移り変わりを理解する。</p> <p>○東大阪市を例に、地域のものづくりの特色や課題について考え、表現できる。</p>  | <p>地図・グラフなどの資料から、阪神工業地帯についての地域的特色や全国に占める割合の変化を読み取る技能を身に付け、阪神工業地帯における工業の特色や課題、その歴史的な変化を理解している。</p>                             | <p>東大阪市を例に、地域のものづくりの特色や、過去から現在に至る阪神工業地帯の変遷、臨海部の再開発について、歴史的な背景を踏まえて、表現している。</p>                             |
| ④商業のまち・大阪の変化<br>  | <p>○大阪の商業について、その歴史的な変化と現代における課題、その要因を理解する。</p> <p>○京阪神大都市圏の交通網の整備と、日本の経済における大阪の位置づけについて考え、表現できる。</p> | <p>主題図やグラフを読み取り、大阪の商業についてその歴史的な変化や、東京都と大阪府の地位についてまとめ、東京の一極集中の進行による影響について理解している。</p>   | <p>京阪神大都市圏での交通網の整備や、日本の経済における大阪の位置づけに興味をもち、都市計画や都市の発達について考えたり、関西国際空港の課題について表現している。</p>                     |
| ⑤琵琶湖の水の利用と環境<br>  | <p>○琵琶湖を取り巻く自然環境、琵琶湖の水の利用、環境保全について、その移り変わりを理解する。</p> <p>○琵琶湖の環境保全と周辺地域の開発の課題について考え、表現できる。</p>        | <p>主題図などの資料から、琵琶湖の水源地としての重要性や琵琶湖の環境の変遷について読み取る技能を身に付け、琵琶湖の水利用の歴史や、琵琶湖の自然環境や水源地としての特徴、環境保全の歴史、周辺地域の開発に関わる課題について理解している。</p>     | <p>琵琶湖の水利用の歴史について理解し、琵琶湖の環境保全と周辺地域の開発をめぐる課題について考察し、環境保全にはさまざまな立場や意見があること、そうした必要な知識を得ることの重要性について表現している。</p> |

| 学習項目              | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現  |
|-------------------|--|--|--|
| 東アジアと結びつく街<br>(1) | ○神戸市の中華街と大阪市のコリアタウンの形成について、その歴史的背景を理解する。<br>○国内に古くから暮らす外国人(オールドカマー)に関心をもち、日本と近隣諸国の歴史や課題について調べようとする態度を養う。 | 統計資料から日本には中国、韓国・朝鮮の人々が多く暮らしていることや、写真資料から日本にある中華街の共通点を読み取り、神戸市の中華街と大阪市のコリアタウンの形成について、その歴史的背景とともに理解している。 | 国内に古くから暮らす外国人の人々に関心をもち、日本と近隣諸国の歴史や課題について調べ、神戸市南京町の中華街や大阪市生野区のコリアタウンを事例に、どのように外国籍の人々が増えてきたのかについて表現している。 |

◇4 中部地方

5

『産業を中心に考えよう』

| 中部地方の学習のねらい   | 中部地方の評価規準   |
|---|---|
| ○中部地方を大観し、「産業の視点」を中核として、さまざまな産業が各地域で独自の発展を遂げ、地域に及ぼした影響などに関連付け、中部地方の地域的特色や地域の課題を理解する。<br>○「産業の視点」を通して、中部地方では、人々の生活や地域的特色が各地域で盛んな産業とどのように結び付いて形成されてきたかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。 | ①知識・技能<br>・中部地方を大観し、「産業の視点」を中核として、さまざまな産業が各地域で独自の発展を遂げ、地域に及ぼした影響などに関連付け、中部地方の地域的特色や地域の課題を理解している。<br>・中部地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>「産業の視点」を通して、中部地方では、人々の生活や地域的特色が各地域で盛んな産業とどのように結び付いて形成されてきたかについて、そこで生じている課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>中部地方の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目                 | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現   |
|----------------------|--|--|---|
| ①産業が活発な地域<br>1       | ○中部地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称を理解する。<br>○中部地方の地勢図から、主な自然地名や各県、主な都市の位置と名称を読み取ることができる。  | 中部地方の位置と自然環境を大観するとともに、主題図やグラフなどの資料から中部地方を構成する県の位置と名称、東海地方・中央高地・北陸地方の地域名と範囲を読み取る技能を身に付け、理解している。   | 中部地方を地形・気候の面から三つの地域に区分して、各地域の特色ある産業との関わりについて考察し、表現している。 |
| ②日本経済をリードする工業地域<br>1 | ○中京工業地帯と東海工業地域には、自動車をはじめとした機械工業が発達しており、地域経済を支えていることを理解する。<br>○豊田市・浜松市の自動車・オートバイなど輸送用機械産業を例に、その成り立ちや合理化された生産体制などについて考え、表現できる。 | 主題図やグラフなどの資料から主な都市とその規模を読み取ったり、関連させて中京工業地帯・東海工業地域の特色を読み取ったりする技能を身に付け、中京工業地帯と東海工業地域には自動車などを中心とした機械工業が発達していることや、それがこの地域の経済を支えていることを理解している。 | 中京工業地帯や東海工業地域の工業の特色について、各都市で盛んな工業を例にあげながら表現している。        |
| ③先進的な第一次産業<br>1      | ○東海地方を例として、温暖な気候や地域の特性などを生かして付加価値を高めた先進的な第一次産業の工夫・現状について理解する。<br>○遠洋漁業の基地である焼津を例に、水産業における現状や課題について考え、表現できる。                  | 東海地方における第一次産業を例として、農業では付加価値を高めるための工夫を取り上げ、漁業では他地域との競争や現状、後継者不足といった課題について着目して考察し、理解している。  | 静岡県の茶の生産などを事例に、第一次産業の発展の過程や集約化された生産の工夫などについて考察し、表現している。 |

| 学習項目                   | 学習のねらい  | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現  |
|------------------------|---|---|--|
| ④自然環境を生かした産業<br>I      | ○中央高地では、自然的条件を生かした産業が盛んであることを理解する。<br>○長野県の高冷地野菜の生産を例に、他地域との時期をずらした出荷などの工夫についてその利点を考え、表現できる。          | 生産時期を気候との関係で他県とずらして出荷する工夫について主題図やグラフから読み取る技能を身に付け、中央高地では、自然的条件や交通網の整備による首都圏との結び付きを生かした農業・工業や観光業が盛んであることを理解している。 | 中央高地の農業や工業、観光業の特色を自然的条件や歴史的背景と関連付けて考察し、表現している。             |
| ⑤雪に育まれた伝統産業<br>I       | ○北陸地方における多雪という自然条件がもたらした、伝統的な産業や稲作を中心とした農業の発達について理解する。<br>○北陸地方の伝統的工芸品や、日本各地の地場産業に関心を持ち、調べようとする態度を養う。 | 主題図やグラフなどの資料から、北陸地方が日本でも有数の多雪地帯であること、北陸地方が中央高地・東海地方と比べて稲作中心であることを読み取る技能を身に付け、北陸地方で伝統産業が発達した理由や農業の特色について理解している。  | 北陸地方の多雪という環境が、伝統産業や稲作中心の農業など、北陸の産業の発達に関係していることを考察し、表現している。 |
| ☐多文化共生を<br>目指して<br>(1) | ○浜松市などの工業地域で働く日系ブラジル人を例に、多文化共生の社会の重要性を理解する。<br>○国内で暮らす外国人(ニューカマー)に関心を持ち、労働や生活の課題について調べようとする態度を養う。     | 静岡県浜松市の工業地域で働く日系ブラジル人を例に、グラフなどの資料から日本全体と浜松市を比較し、特徴の違いについて読み取る技能を身に付け、多文化共生の取り組みとその重要性を理解している。                   | 静岡県浜松市の取り組みを例に、外国人との共生の取り組みについて調べ、説明している。                  |

◇5 関東地方  
5

『他地域との結びつきを中心に考えよう』

| 関東地方の学習のねらい  | 関東地方の評価規準  |
|--|--|
| ○関東地方を大観し、「他地域との結びつきの視点」を中核として、東京に人・もの・情報などが日本や世界から集まることで、政治・経済・文化などさまざまな面で日本の中心的役割を担っていることについて、関東地方の地域的特色や地域の課題を理解する。<br>○「他地域との結びつきの視点」を通して、関東地方がどのように日本・世界の各地と結び付いているかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。 | ①知識・技能<br>・関東地方を大観し、「他地域との結びつきの視点」を中核として、東京に人・もの・情報などが日本や世界から集まることで、政治・経済・文化などさまざまな面で日本の中心的役割を担っていることについて、関東地方の地域的特色や地域の課題を理解している。<br>・関東地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>「他地域との結びつきの視点」を通して、関東地方がどのように日本・世界の各地と結び付いているかについて、そこで生じている課題と関連させて多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>関東地方の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目            | 学習のねらい  | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現  |
|-----------------|---|---|--|
| ①日本の中心的な地域<br>I | ○関東地方の位置と自然環境を大観し、構成する都県の位置と名称を理解する。<br>○関東地方の地勢図から、主な自然地名や各都県、主な都市の位置と名称を読み取ることができる。 | 関東地方の位置と自然環境を大観し、主題図・グラフなどの資料から主な自然地名や各都県、主な都市の位置と名称を読み取る技能を身に付け、構成する都県の位置と名称を理解するとともに、関東平野の地形的特色を理解している。 | 関東地方の自然環境の特色が、人々の生活や地域のつながりにどのような影響を与えているかについて、多面的に考察し、表現している。 |

| 学習項目                 | 学習のねらい   | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現   |
|----------------------|--|---|---|
| ②日本の首都<br>東京<br>     | ○首都のもつ中枢管理機能によって、東京は日本の政治・経済・文化の中心地となっていることを理解する。<br>○鉄道のターミナルに副都心が発達し、土地の効率的な利用のために高層ビルが建ち並ぶこと、都心における人口の課題について考え、表現できる。                     | 主題図やグラフなどの資料から、人口や商工業、外資系産業や外国人居住者などが東京を中心とする関東地方に集中する傾向があることを読み取る技能を身に付け、東京が日本の政治・経済・文化の中心地となっていることを理解している。                | 鉄道のターミナルに副都心が発達し、土地の効率的な利用のために高層ビルが建ち並ぶことや、都心における人口の課題について考察し、表現している。   |
| ③拡大する都市圏<br>         | ○東京を中心とした大都市圏の拡大によって、過密にともなう課題が発生し、都心の機能を分散させる政策が進んでいることを理解する。<br>○東京大都市圏の拡大の理由について、交通網の発達や通勤・通学者の分布などと関連付けて考え、表現できる。                        | 主題図やグラフなどの資料から、通勤・通学者の多い地域が鉄道網に沿って放射状に広がっていることを読み取る技能を身に付け、東京大都市圏の拡大によって、過密にともなう課題が発生し、都心機能の移転などの対策が行われたことを理解している。          | 東京大都市圏が拡大したことの理由や問題点、課題解決の対策について、過密や交通網の発達の観点をふまえて多面的・多角的に考察し、表現している。   |
| ④東京湾岸から<br>内陸地域へ<br> | ○関東地方における工業の発達について交通網の整備とどのように結び付いているかを理解する。<br>○工業地域の拡大の理由や特色について、用地や労働力、交通網の発達と結び付いて進展してきたことについて考え、表現できる。                                  | 主題図やグラフなどの資料を読み取る技能を身に付け、関東地方の各工業地帯・工業地域が東京湾岸から内陸へと拡大して発展し、交通網の整備とどのように結び付いているかを理解している。                                     | 工業地域の内陸部への拡大・発達の理由について、用地や労働力、交通網の発達と結び付いて進展してきたことと関連付けて考察し、表現している。   |
| ⑤世界都市<br>TOKYO<br>   | ○成田国際空港や横浜港は、国際的な交通の拠点として世界各国と結び付いており、関東地方は外国との窓口としても重要な役割をもつことを理解する。<br>○交通・通信の発達により、世界との結び付きが強まることで、地域の国際化が進み、外国人労働者が増加したことなどについて考え、表現できる。 | 主題図やグラフなどの資料から関東地方に多くの外国人が居住していることを読み取る技能を身に付け、成田国際空港や横浜港など、関東地方が外国との窓口としての機能をもつことを理解している。                                  | 東京を中心とする関東地方に外国人が多く居住する理由として、交通・通信の発達により世界との結び付きが強まり、地域の国際化とともに外国人労働者が増加したことなどについて考察し、表現している。   |
| ☐交流による地域づくり<br>(1)   | ○落語をきっかけにした地域の祭りが縁で、地域づくりがなされてきたことを理解する。<br>○都市と農村の交流について関心を持ち、地域活性化と課題について調べようとする態度を養う。   | 目黒区の交流などを例として、地域活性化を旨とする取り組みという視点で模式図にまとめたり、地域交流の新しいかたちとして、地球温暖化への対策も含めた地域づくりを行うことで交流を深めたりするなど、より魅力ある地域づくりがなされてきたことを理解している。 | 『目黒のさんま』という落語をきっかけとして、さんまを焼いて食べるときに必要なものの産地との交流を深めていることに関心を持ち、地域の交流や協力の輪が広がっていることについて調べることを通じ、地域間の具体的な交流によって、それぞれの地域にもたらした効果や利点を具体的に説明している。 |

| 東北地方の学習のねらい   | 東北地方の評価規準  |
|---|--|
| <p>○東北地方を大観し、「生活・文化の視点」を中核として、自然環境や歴史的背景などと関連付け、都市化や国際化の進展によって各地で地域ごとに移り変わりが見られることについて、東北地方の地域的特色や地域の課題を理解する。</p> <p>○「生活・文化の視点」を通して、東北地方ではどのように人々の暮らしや産業が移り変わってきたのかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。</p> | <p>①知識・技能<br/>・東北地方を大観し、「生活・文化の視点」を中核として、自然環境や歴史的背景などと関連付け、都市化や国際化の進展によって各地で地域ごとに移り変わりが見られることについて、東北地方の地域的特色や地域の課題を理解している。</p> <p>・東北地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現<br/>「生活・文化の視点」を通して、東北地方ではどのように人々の暮らしや産業が移り変わってきたのかについて、そこで生じている課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度<br/>東北地方の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目                       | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現  |
|----------------------------|--|--|--|
| <p>①豊かな文化を育んだ地域<br/>I</p>  | <p>○東北地方の位置と自然環境を大観し、構成する県の位置と名称を理解する。</p> <p>○東北地方の地勢図から、主な自然地名や各県、主な都市の位置と名称を読み取ることができる。</p>                                     | <p>東北地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりして、生活・文化を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。</p>  | <p>東北地方の生活・文化に対する関心を高め、それらを中心として東北地方の特色を意欲的に調べようとし、また、秋田音頭を例に、自然・生活・伝統文化についてその背景などを考察している。</p>               |
| <p>②現代に生きる地域文化<br/>I</p>   | <p>○東北地方のさまざまな祭りや伝統芸能について、それらが継承されてきた背景や、文化を受け継ぐ努力・工夫を理解する。</p> <p>○東北の三大祭りなどから、かつての人々の暮らしの様子に関心をもち、地域文化の伝承などについて調べようとする態度を養う。</p> | <p>主題図などの資料から伝統行事などについて読み取る技能を身に付け、東北地方のさまざまな祭りや伝統芸能について、それらが継承されてきた背景や、文化を受け継ぐ努力・工夫を理解している。</p>             | <p>東北地方のさまざまな祭りや伝統芸能、無形の文化遺産の歴史的な背景について、人々の生活と関連付けて考察し、表現している。</p>   |
| <p>③東北地方の食文化と水産業<br/>I</p> | <p>○東北地方における人々の暮らしを通じて、自然環境と文化や産業との関わりについて理解する。</p> <p>○東北地方太平洋岸を例に、地域の水産業の発達と、リアス海岸などの自然環境について考え、表現できる。</p>                       | <p>東北地方の食文化や水産業について、地形や海流など自然環境が大きく影響するなかで、北前船を通じて西日本との関わりが見られるなど、人々の暮らしが営まれてきたことを理解している。</p>                | <p>東北地方の食文化や水産業について関心をもち、その食文化・水産業がどうしてその地域に根づいたのか、その理由について具体的な事例を取り上げ、その歴史的背景や自然環境との関わりについて考察し、表現している。</p>  |
| <p>④冷害を乗り越える農家<br/>I</p>   | <p>○東北地方の農業について、冷害が発生しやすい一方で、稲の品種改良ややませを克服する工夫が行われていることを理解する。</p> <p>○農業経営を安定させるため、稲作と果樹栽培や畜産などとの複合経営が行われてきたことについて考え、表現できる。</p>    | <p>さまざまな資料から、稲作における東北地方の占める地位を確認したり、各地で特色ある銘柄米が生産されていることを読み取ったりし、稲の品種改良や複合経営などの工夫によって冷害に対応してきたことを理解している。</p> | <p>山形県での冷害に対する稲作の工夫の例に関心をもち、東北地方の農業について追究し、稲作を中心とした農業経営を安定させるために、稲の品種改良、果樹栽培や畜産などとの複合経営が行われてきたことを表現している。</p> |

| 学習項目             | 学習のねらい   | ①知識・技能  | ②思考・判断・表現   |
|------------------|--|---|---|
| ⑤農村の暮らしの変化<br>I  | ○東北地方の人々の暮らしの変化と産業の進展について、農村景観の変化や農作業の効率化などと関連付けて理解する。<br>○東北地方の農工業について、農業の効率化と高齢化の進展、高速道路の整備と工業の進出などを結び付けて考え、表現できる。 | 主題図などの資料から工場の立地と高速道路の関係について読み取り、東北地方の人々の暮らしの変化と産業の進展について、都市化や工業化、農村景観の変化や農作業の効率化などと関連付けて理解している。           | 東北地方の農工業について、農業の効率化と高齢化の進展、高速道路の整備と工業の進出などを結び付けて考察し、表現している。   |
| ㊦震災を乗り越えて<br>(1) | ○岩手県山田町における祭りの復活を例に、地域の人々の思いや伝統文化の継承について理解する。<br>○東日本大震災で被害を受けた地域について関心を持ち、各地の伝統芸能・文化の継承について調べようとする態度を養う。            | 山田町の位置図と本文の記述から、東日本大震災時における被害について地域的特色を読み取り、地域ごとの伝統文化や文化財の救済事業について興味を持ち、「地域の文化を引き継いでいく」意義やその課題について理解している。 | 地域の伝統芸能や文化財の救済事業について関心を持ち、地域や事業の歴史・背景について調べたり、山田町の魚賀波間神社の例大祭の復活について、人々の復活にかけ思いや震災後の被害の状況について調べたりし、まとめている。 |

◇7 北海道地方  
5

『自然環境と関連する産業の視点から、北海道地方の特色を考えていこう。』

| 北海道地方の学習のねらい   | 北海道地方の評価規準   |
|--|--|
| ○北海道地方を大観し、「自然環境と関連する産業の視点」を中核として、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることについて、北海道地方の地域的特色や地域の課題を理解する。<br>○「自然環境と関連する産業の視点」を通して、北海道地方ではどのように自然環境を生かした暮らしや産業が行われてきたのかについて、そこで生じている課題と結び付けて考察し、表現できる。 | ①知識・技能<br>・北海道地方を大観し、「自然環境と関連する産業の視点」を中核として、自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていることについて、北海道地方の地域的特色や地域の課題を理解している。<br>・北海道地方の地域的特色に関するさまざまな資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりする技能を身に付けている。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>「自然環境と関連する産業の視点」を通して、北海道地方ではどのように自然環境を生かした暮らしや産業が行われてきたのかについて、そこで生じている課題と結び付けて多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>北海道地方の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目               | 学習のねらい  | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現   |
|--------------------|---|--|---|
| ①自然改変の歴史をもつ地域<br>I | ○北海道地方の歴史と自然環境を大観し、主な都市の位置と名称を理解する。<br>○北海道地方の地勢図から、主な自然地名や主な都市の位置と名称を読み取ることができる。                                   | 北海道地方の位置や自然環境を大観し、主題図から主な自然地名や主な都市の位置と名称を読み取る技能を身に付け、アイヌ民族と和人との関わりについて理解している。                          | 北海道への和人の進出について、松前藩や明治政府の政策や開拓の歴史と関連付けて考察し、表現している。           |
| ②厳しく長い冬の暮らし<br>I   | ○冷帯(亜寒帯)に属する北海道の気候と、寒冷な気候に対応した人々の暮らしの特色について理解する。<br>○冷帯(亜寒帯)特有の気候について関心を持ち、人々の寒さへの工夫、流水や夏季の濃霧、湿原などについて調べようとする態度を養う。 | 主題図やグラフなどの資料から日本海側と太平洋側の気候の特色の違いを読み取る技能を身に付け、冷帯(亜寒帯)に属する北海道地方の気候の特色を理解し、寒冷な気候に対応した人々の暮らしの特色について理解している。 | 寒冷な気候の中での人々の暮らしの特色や、そうした気候を活用した生活の工夫について多面的・多角的に考察し、表現している。 |



| 学習項目                  | 学習のねらい   | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現   |
|-----------------------|--|--|---|
| ③日本の食料基地として<br>       | ○北海道の大規模で多様な農業経営と、日本の食料基地としての重要な役割について理解する。<br>○石狩平野の稲作、十勝平野の畑作や根釧台地の酪農について、自然的条件や社会的条件などと関連付けて考え、表現できる。         | グラフなどの資料から全国と比較した北海道の農業の特色を読み取る技能を身に付け、北海道が日本の「食料基地」とよばれる理由や、北海道各地の農業の特色について理解している。  | 石狩平野の稲作、十勝平野の畑作や根釧台地の酪農の特色について、自然的条件や社会的条件などと関連付けて考察し、表現している。         |
| ④「とる漁業」から「育てる漁業」へ<br> | ○北海道の漁業の現状や、「とる漁業」から栽培漁業や養殖などの「育てる漁業」へ転換した背景について理解する。<br>○水産資源の保護と北洋漁業の課題について関心をもち、国際関係と関連させて漁業の現状を調べようとする態度を養う。 | 主題図やグラフなどの資料から北海道の漁業の特色や養殖業の生産の変化を読み取る技能を身に付け、北洋漁業に代表される「とる漁業」が行き詰まった理由や、北海道の栽培漁業や養殖などの「育てる漁業」が拡大した背景について理解している。               | 北海道の漁業が大きく変化した理由を、歴史的経過や国際関係と関連付けて考察し、表現している。                         |
| ⑤豊かな自然と観光<br>         | ○北海道特有の自然環境を生かした観光産業と地域の活性化の関連について理解する。<br>○身近な地域での自然や伝統的な文化を楽しむエコツアーのあり方や、増加する海外からの外国人観光客の動向について考え、表現できる。       | グラフなどの資料から、北海道への外国人観光客はアジアからの人々が多いこと、観光客は夏季に多く、冬季に少ないことを読み取る技能を身に付け、北海道の観光資源の多くは豊かな自然環境を生かしたものであることや、観光産業と地域の活性化の関連について理解している。 | 身近な地域での自然や伝統的な文化を楽しむエコツアーのあり方について、増加する海外からの外国人観光客の動向と関連付けて考察し、表現している。 |
| ㊦アイヌの人たちの文化に学ぶ<br>(1) | ○アイヌ民族の歴史や文化を知り、伝統文化を継承する重要性を理解する。<br>○アイヌ民族の文化に関心をもち、日本国内での多様な地域文化の共存について調べようとする態度を養う。                          | アイヌ民族の生活とその歩みについて本文の記述や資料から適切に表にまとめる技能を身に付け、伝統文化を継承する取り組みやその重要性を理解している。  | アイヌ民族の歴史や文化を理解し、多文化との共生について多面的・多角的に考察し、表現している。                        |

#### ●第4章 身近な地域の調査(8時間)

| 章の学習のねらい   | 章の評価規準  |
|--|---|
| ○身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などの活動を行い、地域に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとする態度を養う。<br>○市町村規模の地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付ける。 | ①知識・技能<br>・身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。<br>・身近な地域の調査について、地域的特色や地域の課題とともに、身近な地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を身に付けている。<br>②社会的な思考・判断・表現<br>身近な地域の調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。<br>③主体的に学習に取り組む態度<br>身近な地域の調査について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 |

〈各時間の評価規準〉

| 学習項目                             | 学習のねらい  | ①知識・技能   | ②思考・判断・表現  |
|----------------------------------|---|--|--|
| ①地域をながめて<br>1                    | ○身近な地域に対して関心を高め、調査テーマを決めるために地域を観察したり、諸資料などを集めて分析したりする。<br>○身近な地域に対して関心を高め、注意しながら観察し、視点をしばって調査テーマを決めようとする態度を養う。                                    | 身近な地域の調査を始めるにあたり、調査の見通しの立て方を理解し、調査テーマを決定する方法を身に付けている。  | 身近な地域の調査に向けて、地域の特色などに着目し、多面的・多角的に観察することを通して調査テーマを設定し、表現している。                                     |
| ②地形図の見方を知ろう<br>1                 | ○地形図の縮尺と、縮尺に応じた表現の違いについて理解し、地形図の基礎的な読み取り方を身に付ける。<br>○調べる対象に応じて適切な縮尺の地形図を選択し、読み取ることができる。   | 主な地図記号や縮尺など、地形図の基礎的な読み取り方を身に付けている。   | 調べる対象に応じて、適切な縮尺の地形図を選択し、読み取ったことをもとに調査結果を表現している。  |
| ③調査テーマを決めて計画を立てよう<br>1           | ○調査テーマごとに班をつくるとともに、テーマを解決するための仮説を立て、さまざまな調査方法から適切なものを選択するなどして、調査の具体的なイメージを固める。<br>○観察や諸資料によって得られた地域の情報や疑問などを分類・整理して共有し、取材先を選定するなど、具体的な調査計画書を作成する。 | 調査計画書の作成を通して、調査方法や資料収集の方法を理解し、調査の具体的なイメージを固めることができる。   | 調査テーマを解決する際に適切な調査方法は何かを考え、地域の情報や疑問などを多面的・多角的に分析し、調査計画書に表現している。                                   |
| ④地域の工業を調べよう<br>⑤地域の商店街を調べよう<br>2 | ○文献資料から地域の変化を年表やモデル図に加工したり、統計資料をグラフ化する。聞き取り調査を実施し、得られた情報を整理することができる。<br>○地形図や同一地点の景観写真の新旧比較を行い、地域の変化を読み取り、文章に表現し、地域で活動している各種団体への聞き取りを行う。          | 文献資料・統計資料や地形図などから地域の変化を年表やグラフ、地図などに加工し、聞き取り調査での情報を適切に整理するなど、文献資料や統計資料の活用の仕方、新旧の地図の比較方法などを理解し、その知識を使って調査活動を進めている。 | 聞き取り調査に高い関心をもち、積極的に取材しようとしていると同時に、地形図や景観写真の新旧比較、文献資料、聞き取り調査などから地域の変化を読み取り、文章や図に表現している。           |
| ⑥発表会を開こう<br>1                    | ○調査した結果をレポートやイラストマップ、新聞形式、パソコンを使って発表形式にまとめるなどの表現ができる。<br>○各班の調査結果をクラスで共有するための発表会の準備を進める。  | 調査した結果をレポートやイラストマップ、新聞形式、パソコンを使い発表用に整理するなど、わかりやすく表現するなど、調査した結果のまとめ方や発表の方法を理解し、その知識を自分たちの発表会に生かしている。              | 調査結果をクラスで共有するための発表会の準備に積極的に参加し、調査結果の表現方法を適切に選択し、手法に応じてわかりやすくまとめ、表現している。                          |
| ⑦地域に向けて発信しよう<br>1                | ○地域の課題とその解決のための方策などを提案する。<br>○地域調査に協力いただいた方々を教室に招くなどして、調査結果を報告する。   | イラストマップやグラフを活用して、調査結果を適切に報告し、調査で得た具体的な知識に基づいて、地域の課題や改善策について報告、提案をしている。   | 地域調査の発表会に積極的に参加し、よりよい発表会とするために意欲的に活動し、地域の課題とその解決のための方策などを生徒や地域調査に協力していただいた方々に対し、わかりやすく説明、提案している。 |
| ⑧レポートにまとめよう<br>1                 | ○調査結果を各自で文章やグラフ、主題図などで表現し、レポートとしてまとめる。<br>○調査活動を振り返り、調査における視点と方法をまとめ、技能として身に付ける。  | 身近な地域の調査における視点と方法、レポートのまとめ方を技能として身に付け、身近な地域の調査における視点と方法を理解している。  | 身近な地域の学習を振り返りながら、よりよいレポートを書こうと工夫して調査結果を自分の言葉でまとめ、グラフ、主題図などを活用して、レポートとして提出している。                   |